

コミュニティ・スクールがっこうえいぎょうかい(学校運営協議会)の良さは何ですか？



学校と地域・保護者が一緒に「子どもたちをどう育てるか」を話し合うことができます。

今までの学校評議員会は、「学校の方針や現状を聞く」だけでしたが、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)は「子どもの学び」を話し合う場です。学校にとっては、課題や今後を、地域や保護者のみなさんと一緒に考えていくことができます。教員が転動しても、続けていくことができます。また、教員以外の新しい視点で子どもの育ちや学校運営に協力してもらえます。

地域にとっては、地域の課題と一緒に考えたり、自分の住む地域を大切にしたいと思う子どもを育てたりできます。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動ちいきがっこうきょうどうかつどうの取組で育てたい子どもの力は？

これからの時代を生きていくための、考える力や変化に対応する力などの「生きる力」を育てます。

教室では学べない体験や自分の住む地域ならではの経験で「生きる力」が育まれます。また、たくさんの人との出会いにより、「自分には、こんな良いところがある」と気づいたり、地域の方との出会いで「こんな大人になりたいなあ」と感じたり、「ここに住みたい」と野洲への愛着や関心が高まったりします。



地域学校協働活動ちいきがっこうきょうどうかつどうはどんなことをするの？

地域の人とのかかわりや活動をとおして「ふるさと野洲」に愛着をもち続ける子どもたちを育てます。

各学校・地域にはその土地ならではの歴史や文化、良さがああります。一緒に学び、活動することが地域学校協働活動の取組です。人とのつながりができ、将来にわたって「ふるさとを大切にしたい」と考える人が育ちます。大人も自分の得意なことを子どもたちに伝え、つないでいくことができます。

例えば、学校では、地域の方からの支援や職場体験学習の運営、防災、自然、歴史のふるさと学習企画・運営、読み聞かせ活動など。地域では、清掃・草取り、防災訓練、福祉活動、祭りやバザー企画・運営、ファーム運営・販売など。また、中学生が、地域の方にパソコンの使い方を教える活動や、園児や小学生に読み聞かせや学習支援など。

学校の情報のやり取りがうまくいくように地域学校協働活動推進員ちいきがっこうきょうどうかつどうすいしんいんがつかっています。

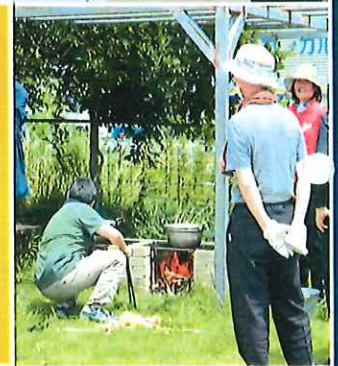


野洲市 コミュニティ・スクール 令和5年 スタート

～地域とともにある学校づくり・学校を核とした地域づくり～



コミュニティ・
スクールと地域
がっこうきょうどうかつどう
学校協働活動の
すいしん
推進をめざして



野洲市における学校と地域の連携・協働推進体制

れんけい きょうどうすいしんたいせい

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

学校を核とした地域づくり



コミュニティ・スクールとは?

学校と地域住民が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効なツール。
(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5)

愛と輝きのある教育のまち・野洲

～一人ひとりが大切にされ、おとなも子どもも学びあうひとづくり・まちづくり～
学校・地域・家庭が目指す子どもの姿を共有し、一緒に野洲の子どもを育てよう
(「野洲市教育振興基本計画第3期」に基づく3つの基本目標の「基本目標Ⅱ」)

地域学校協働活動とは?

幅広い地域住民や団体等の協力によってつくられた、ゆるやかなネットワークのこと。